

野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド (野村SMA向け)

運用報告書(全体版)

第6期(決算日2019年2月12日)

作成対象期間(2018年2月14日～2019年2月12日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/債券	
信託期間	2013年12月4日以降、無期限とします。	
運用方針	世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)受益証券を通じて、主として日本を含む世界先進主要国の公社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行うことを基本とします。為替ヘッジはマザーファンドにおいて行うため、当ファンドにおいては原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資対象	野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド(野村SMA向け)	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	日本を含む世界先進主要国の公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド(野村SMA向け)	株式への直接投資は行いません。 外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への直接投資は行いません。 株式への投資は転換社債を転換したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			参考指標 1ヵ月円LIBOR	債組入比率	債券先物比率	純資産額
		税金	込配	み騰落 期中率				
	円		円	%	%	%	%	百万円
2期(2015年2月10日)	10,434		10	4.2	0.09	72.9	—	210
3期(2016年2月10日)	10,467		10	0.4	0.06	66.1	—	10,596
4期(2017年2月10日)	10,384		10	△0.7	△0.05	73.8	—	11,307
5期(2018年2月13日)	10,298		10	△0.7	△0.03	93.2	—	8,366
6期(2019年2月12日)	10,373		10	0.8	△0.08	80.3	—	7,500

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 1ヵ月円LIBORは、期中における1ヵ月円LIBORをもとに当社が独自に累積再投資し、算出したものです。

* LIBOR : London Inter-Bank Offered Rate

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	標準価額		参考指標 1ヵ月円LIBOR	債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰落	騰落率				
(期首) 2018年2月13日	円 10,298		% —	% —	% 93.2	% —	% —
2月末	10,291	△0.1	△0.00	88.4	—	—	
3月末	10,329	0.3	△0.01	89.1	—	—	
4月末	10,296	△0.0	△0.01	90.0	—	—	
5月末	10,217	△0.8	△0.02	86.9	—	—	
6月末	10,264	△0.3	△0.02	75.8	—	—	
7月末	10,265	△0.3	△0.03	72.6	—	—	
8月末	10,236	△0.6	△0.03	75.8	—	—	
9月末	10,258	△0.4	△0.04	74.2	—	—	
10月末	10,247	△0.5	△0.05	80.5	—	—	
11月末	10,277	△0.2	△0.05	82.7	—	—	
12月末	10,337	0.4	△0.07	80.0	—	—	
2019年1月末	10,375	0.7	△0.08	81.5	—	—	
(期末) 2019年2月12日	10,383	0.8	△0.08	80.3	—	—	

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：10,298円

期末：10,373円（既払分配金（税込み）：10円）

騰落率： 0.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2018年2月13日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指標は、1ヵ月円LIBOR（＝London Inter-Bank Offered Rate）であり、利率表示のため、基準価額と併記する形でのグラフ掲載しておりません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は0.83%の上昇

基準価額は、期首10,298円から期末10,383円（分配金込み）に、85円の値上がりとなりました。

(上昇) 債券を保有していたことによる、インカムゲイン（利息収入）。

(上昇) ユーロ安が進んだことによる為替差益。

(下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト（金利差相当分の費用）。

○投資環境

債券市場<国債利回りは米国・ドイツ・日本で低下>

米国市場では、FRB（米連邦準備制度理事会）が4回の利上げを行なうなど金融引き締めを進めたことで、期中に国債利回りは上昇（価格は下落）しました。しかし、世界景気の減速懸念が高まったことやFRBによる金融引き締め観測が後退したことから、期末にかけて国債利回りは低下（価格は上昇）に転じました。

ユーロ圏では、景況感を表す指標の悪化が続いたことや、世界景気の減速懸念が高まったことなどを受けて、ドイツの国債利回りは低下しました。

日本では、日銀が金融政策決定会合にてイールドカーブコントロール政策の下での10年債利回りの変動幅拡大を示したことで、期中に国債利回りは上昇したものの、期末にかけて海外金利が低下する中で、国債利回りは低下に転じました。

為替市場<円は米ドルに対して横ばい、ユーロに対して上昇>

期中に米国債利回りが上昇する中で、円は米ドルに対して下落（円安）したものの、期末にかけて世界景気の減速懸念の高まりからリスク回避姿勢が強まると、円は米ドルに対して上昇（円高）し、期を通じてみると横ばいとなりました。ユーロ圏経済の悪化が意識されたことなどを背景に、円はユーロに対して上昇しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド（野村SMA向け）]

期を通じて〔世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド〕受益証券の組入比率を高位に維持しました。

[世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド]

米国、欧州（ユーロ圏・英国）の国債などに分散投資を行ない、デュレーションを3～4年前後としました。通貨変動リスクを低減するために、ファンド全体の外貨エクスポージャー※はおおむね1～6%程度と低位に維持しました。年限別では、安定した収益の確保をはかるため、短・中期債への投資を中心としたほか、利息収入を期待できる長期債に投資しました。

※外貨エクスポージャーとは、外貨建て純資産のうち為替ヘッジを行なわなかった額の純資産に対する比率。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

参考指標としている1ヵ月円LIBORの収益率※が-0.08%となったのに対し、基準価額（分配金込み）の騰落率は+0.83%となりました。

※期中における1ヵ月円LIBORをもとに当社が独自に累積再投資して算出したもの。

（主なプラス要因）

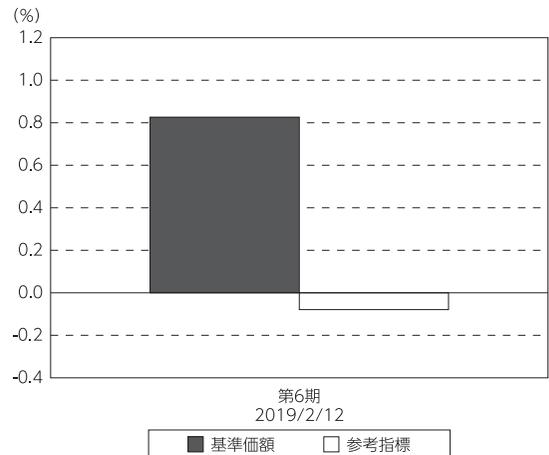
債券を保有していたことによる、インカムゲインが得られたこと。

ユーロ安が進行したことによる為替差益。

（主なマイナス要因）

対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト（金利差相当分の費用）。

基準価額と参考指標の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）参考指標は、1ヵ月円LIBORです。騰落率は、当社が独自に累積再投資して算出したものです。

◎分配金

当期の収益分配金は、基準価額水準等を勘案し、経費控除後の利子・配当等収益等から1万円当たり10円とさせていただきます。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万円当たり・税込み）

項 目	第6期
	2018年2月14日～ 2019年2月12日
当期分配金	10
（対基準価額比率）	0.096%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	891

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド]

今後の運用につきましては、引き続き地域や銘柄の分散に配慮しつつ、安定的な収益の確保をはかるために金利リスクを適切に調整した運用を行いません。邦貨建資産の額と外貨建資産のうち為替ヘッジを行なった資産の額との合計額は、原則として信託財産の純資産総額の90%±10%程度の範囲内で、市場見通しに応じて調整を行いません。

[野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド（野村SMA向け）]

[世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をはかります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2018年2月14日～2019年2月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 53	% 0.517	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(44)	(0.431)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(6)	(0.054)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.032)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	3	0.028	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.026)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	56	0.545	
期中の平均基準価額は、10,282円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年2月14日～2019年2月12日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド	千口 882,805	千円 1,128,800	千口 1,636,812	千円 2,091,300

* 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年2月14日～2019年2月12日)

利害関係人との取引状況

<野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド（野村SMA向け）>
該当事項はございません。

<世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	254,971	90	0.0	254,550	—	—
為替直物取引	15,427	21	0.1	16,547	25	0.2

平均保有割合 28.7%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2018年2月14日～2019年2月12日)

期首残高 (元 本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元 本)	取引の理由
百万円 0	百万円 —	百万円 —	百万円 0	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2019年2月12日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド	千口 6,537,670	千口 5,783,663	千円 7,493,314

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2019年2月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド	7,493,314	99.5
コール・ローン等、その他	35,464	0.5
投資信託財産総額	7,528,778	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（20,871,332千円）の投資信託財産総額（25,677,819千円）に対する比率は81.3%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=110.55円、1カナダドル=83.08円、1英ポンド=142.27円、1スウェーデンクローナ=11.88円、1ノルウェークローネ=12.69円、1ユーロ=124.63円、1ズロチ=28.82円、1シンガポールドル=81.23円、1豪ドル=78.10円、1メキシコペソ=5.73円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年2月12日現在)

○損益の状況 (2018年2月14日～2019年2月12日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	7,528,778,027
コール・ローン等	33,563,395
世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド(評価額)	7,493,314,632
未収入金	1,900,000
(B) 負債	27,946,962
未払収益分配金	7,231,405
未払解約金	1,788,308
未払信託報酬	18,848,723
未払利息	53
その他未払費用	78,473
(C) 純資産総額(A-B)	7,500,831,065
元本	7,231,405,289
次期繰越損益金	269,425,776
(D) 受益権総口数	7,231,405,289口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,373円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 10,384
支払利息	△ 10,384
(B) 有価証券売買損益	102,090,520
売買益	106,666,982
売買損	△ 4,576,462
(C) 信託報酬等	△ 37,491,069
(D) 当期損益金(A+B+C)	64,589,067
(E) 前期繰越損益金	△ 91,695,873
(F) 追加信託差損益金	303,763,987
(配当等相当額)	(381,641,147)
(売買損益相当額)	(△ 77,877,160)
(G) 計(D+E+F)	276,657,181
(H) 収益分配金	△ 7,231,405
次期繰越損益金(G+H)	269,425,776
追加信託差損益金	303,763,987
(配当等相当額)	(383,718,224)
(売買損益相当額)	(△ 79,954,237)
分配準備積立金	260,893,941
繰越損益金	△295,232,152

(注) 期首元本額は8,124,036,814円、期中追加設定元本額は1,101,179,847円、期中一部解約元本額は1,993,811,372円、1口当たり純資産額は1.0373円です。

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）分配金の計算過程（2018年2月14日～2019年2月12日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2018年2月14日～ 2019年2月12日
a. 配当等収益(経費控除後)	120,247,456円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	383,718,224円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	147,877,890円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	651,843,570円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	901円
g. 分配金	7,231,405円
h. 分配金(1万口当たり)	10円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	10円
----------------	-----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド

運用報告書

第14期（決算日2019年2月12日）

作成対象期間（2018年2月14日～2019年2月12日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日本を含む世界先進主要国の公社債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をはかることを目的として、運用を行うことを基本とします。 公社債への投資にあたっては、流動性の高い高格付の公社債に投資することを基本とし、為替ヘッジベースでの利回り水準、各国の金利見通し等を勘案してポートフォリオを構築することで、収益の確保を目指します。さらに、カントリーアロケーション、デュレーションおよび為替ヘッジ比率をアクティブに変更することで、収益の獲得および利回りの向上を目指します。なお、先物取引等も適宜活用します。 邦貨建て資産の額と外貨建て資産のうち為替ヘッジ（他通貨による代替ヘッジを含みます。）を行った資産の額との合計額（実質的な邦貨建て資産の額）については、原則として信託財産の純資産総額の90%±10%程度に維持することを基本とします。なお、外貨建て資産の他通貨による代替ヘッジについては、信託財産の純資産総額の10%程度の範囲内で行います。
主な投資対象	日本を含む世界先進主要国の公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への直接投資は行いません。株式への投資は転換社債を転換したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 額	騰落率		参考指標 1ヵ月円LIBOR	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		騰	落						
	円		%	%	%	%	%	%	百万円
10期(2015年2月10日)	12,720		4.7	0.09	73.0		—		7,952
11期(2016年2月10日)	12,834		0.9	0.06	66.2		—		24,300
12期(2017年2月10日)	12,811		△0.2	△0.05	73.9		—		31,291
13期(2018年2月13日)	12,784		△0.2	△0.03	93.3		—		24,529
14期(2019年2月12日)	12,956		1.3	△0.08	80.4		—		25,578

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*1ヵ月円LIBORは、期中における1ヵ月円LIBORをもとに当社が独自に累積再投資し、算出したものです。

*LIBOR: London Inter-Bank Offered Rate

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 額	騰落率		参考指標 1ヵ月円LIBOR	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰	落					
(期首) 2018年2月13日	円 12,784		% —	% —	% 93.3	% —	% —	% —
2月末	12,778		△0.0	△0.00	88.5		—	—
3月末	12,831		0.4	△0.01	89.1		—	—
4月末	12,795		0.1	△0.01	90.1		—	—
5月末	12,703		△0.6	△0.02	87.0		—	—
6月末	12,767		△0.1	△0.02	75.8		—	—
7月末	12,773		△0.1	△0.03	72.7		—	—
8月末	12,743		△0.3	△0.03	75.9		—	—
9月末	12,775		△0.1	△0.04	74.3		—	—
10月末	12,768		△0.1	△0.05	80.5		—	—
11月末	12,810		0.2	△0.05	82.8		—	—
12月末	12,891		0.8	△0.07	80.1		—	—
2019年1月末	12,944		1.3	△0.08	81.6		—	—
(期末) 2019年2月12日	円 12,956		1.3	△0.08	80.4		—	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移

【基準価額等の推移】
(2018年2月14日～2019年2月12日)



(注) ファンドの参考指標は1ヵ月円LIBORであり、利率表示のため、基準価額と併記する形でのグラフ掲載はしていません。

○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は1.35%の上昇

基準価額は、期首12,784円から期末12,956円に、172円の値上がりとなりました。

(上昇) 債券を保有していたことによる、インカムゲイン（利息収入）。

(上昇) ユーロ安が進んだことによる為替差益。

(下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト（金利差相当分の費用）。

○当ファンドのポートフォリオ

米国、欧州（ユーロ圏・英国）の国債などに分散投資を行ない、デュレーションを3～4年前後としました。通貨変動リスクを低減するために、ファンド全体の外貨エクスポージャー※はおおむね1～6%程度と低位に維持しました。年限別では、安定した収益の確保をはかるため、短・中期債への投資を中心としたほか、利息収入を期待できる長期債に投資しました。

※ 外貨エクスポージャーとは、外貨建て純資産のうち為替ヘッジを行なわなかった額の純資産に対する比率。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

参考指標としている1ヵ月円LIBORの収益率※が-0.08%となったのに対し、基準価額の騰落率は+1.35%となりました。

※ 期中における1ヵ月円LIBORをもとに当社が独自に累積再投資して算出したもの。

(主なプラス要因)

債券を保有していたことによる、インカムゲインが得られたこと。

ユーロ安が進行したことによる為替差益。

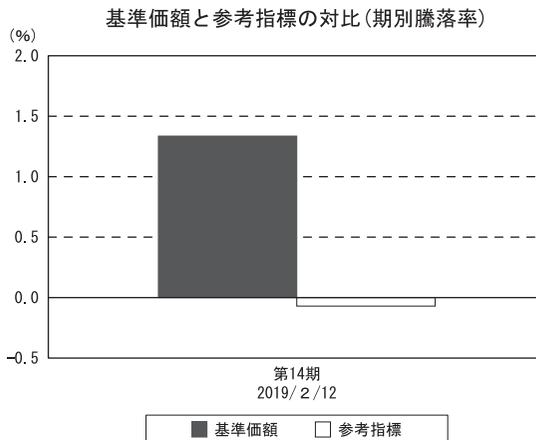
(主なマイナス要因)

対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト（金利差相当分の費用）。

◎今後の運用方針

今後の運用につきましては、引き続き地域や銘柄の分散に配慮しつつ、安定的な収益の確保をはかるために金利リスクを適切に調整した運用を行ないます。邦貨建資産の額と外貨建資産のうち為替ヘッジを行なった資産の額との合計額は、原則として信託財産の純資産総額の90%±10%程度の範囲内で、市場見通しに応じて調整を行ないます。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



(注) 参考指標は1ヵ月円LIBORです。騰落率は、当社が独自に累積再投資して算出したものです。

○1万口当たりの費用明細

(2018年2月14日～2019年2月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 3	% 0.026	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.026)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	3	0.026	
期中の平均基準価額は、12,798円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年2月14日～2019年2月12日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
国内	国債証券		千円 —	千円 567,656
外	アメリカ	国債証券	千米ドル 38,602	千米ドル 49,608
		特殊債券	—	— (13,000)
	カナダ	国債証券	千カナダドル —	千カナダドル 7,743
		地方債証券	16,949	9,970
		特殊債券	—	— (200)
国	イギリス	国債証券	千英ポンド 19,776	千英ポンド 17,988
		地方債証券	3,996	—
		特殊債券	5,476	—
	スウェーデン	特殊債券	千スウェーデンクローナ 91,506	千スウェーデンクローナ —
ノルウェー	国債証券	千ノルウェークローネ 81,949	千ノルウェークローネ 17,706	

		買 付 額	売 付 額
外	ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	国債証券	10,112
	イタリア	国債証券	31,685
	スペイン	国債証券	22,361
	ベルギー	国債証券	17,983
国	ポーランド	国債証券	千ズロチ
			24,754
	オーストラリア	国債証券	千豪ドル
		特殊債券	—
		3,990	—
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ
			75,439
			46,328

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

* ()内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2018年2月14日～2019年2月12日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	254,971	90	0.0	254,550	—	—
為替直物取引	15,427	21	0.1	16,547	25	0.2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2019年2月12日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 30,200	千米ドル 29,763	千円 3,290,318	% 12.9	% —	% —	% 11.1	% 1.7
カナダ	千カナダドル 32,900	千カナダドル 33,643	2,795,125	10.9	—	2.3	2.5	6.1
イギリス	千英ポンド 13,100	千英ポンド 13,533	1,925,442	7.5	—	2.8	4.8	—
スウェーデン	千スウェーデンクローナ 108,000	千スウェーデンクローナ 111,642	1,326,311	5.2	—	—	5.2	—
ノルウェー	千ノルウェークローネ 81,000	千ノルウェークローネ 82,865	1,051,565	4.1	—	2.7	1.4	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	9,600	10,299	1,283,613	5.0	—	2.9	2.2	—
イタリア	25,500	27,735	3,456,654	13.5	—	2.2	8.9	2.5
スペイン	16,800	20,492	2,553,963	10.0	—	2.8	7.2	—
ベルギー	8,600	8,801	1,096,983	4.3	—	4.3	—	—
日本	428	438	54,626	0.2	—	—	0.2	—
ポーランド	千ズロチ 13,000	千ズロチ 13,093	377,357	1.5	—	1.5	—	—
オーストラリア	千豪ドル 9,000	千豪ドル 9,170	716,231	2.8	—	—	2.8	—
メキシコ	千メキシコペソ 120,000	千メキシコペソ 109,922	629,856	2.5	—	1.0	1.5	—
合 計	—	—	20,558,051	80.4	—	22.4	47.7	10.2

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当期				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円	
地方債証券 特殊債券 (除く金融債) 普通社債証券 (含む投資法人債券)	TOKYO METROPOLITAN GOVT	2.125	3,000	2,995	331,140	2019/5/20	
	JAPAN BANK FOR INTL COOP	2.375	8,000	7,857	868,684	2022/11/16	
	JAPAN FIN ORG MUNICIPAL	2.125	1,000	999	110,518	2019/3/6	
	JAPAN FIN ORG MUNICIPAL	2.125	2,500	2,465	272,538	2021/2/12	
	CENTRAL NIPPON EXPRESSWY	2.241	5,000	4,916	543,562	2021/2/16	
	CENTRAL NIPPON EXPRESSWY	2.293	4,200	4,124	455,928	2021/4/23	
	CENTRAL NIPPON EXPRESSWY	2.362	3,500	3,437	380,049	2021/5/28	
CENTRAL NIPPON EXPRESSWY	2.849	3,000	2,966	327,896	2022/3/3		
小計						3,290,318	
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
地方債証券 特殊債券 (除く金融債)	BRITISH COLUMBIA PROV OF	3.7	7,000	7,220	599,884	2020/12/18	
	ONTARIO (PROVINCE OF)	4.2	2,500	2,572	213,714	2020/6/2	
	ONTARIO (PROVINCE OF)	3.5	3,500	3,694	306,912	2024/6/2	
	PROVINCE OF QUEBEC	2.75	3,400	3,459	287,449	2025/9/1	
	QUEBEC PROVINCE	4.5	8,500	8,880	737,816	2020/12/1	
CANADA HOUSING TRUST	1.15	8,000	7,815	649,346	2021/12/15		
小計						2,795,125	
イギリス				千英ポンド	千英ポンド		
国債証券	UK TREASURY	2.25	1,000	1,064	151,446	2023/9/7	
	UK TREASURY	1.625	1,900	1,978	281,520	2028/10/22	
	UK TREASURY	3.5	700	965	137,402	2045/1/22	
地方債証券	PROVINCE OF ALBERTA	1.5	4,000	4,016	571,435	2022/12/15	
特殊債券 (除く金融債)	KFW	1.25	3,500	3,507	499,040	2023/12/29	
	LANDWIRTSCH. RENTENBANK	1.375	2,000	2,000	284,596	2025/9/8	
小計						1,925,442	
スウェーデン				千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ		
国債証券	SWEDISH GOVERNMENT	1.5	18,000	19,439	230,937	2023/11/13	
特殊債券 (除く金融債)	KOMMUNINVEST I SVERIGE	1.0	90,000	92,203	1,095,374	2023/11/13	
小計						1,326,311	
ノルウェー				千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ		
国債証券	NORWEGIAN GOVERNMENT	2.0	27,000	27,820	353,045	2023/5/24	
	NORWEGIAN GOVERNMENT	1.75	54,000	55,044	698,519	2025/3/13	
小計						1,051,565	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	2.0	4,000	4,445	554,090	2023/8/15
		BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	0.5	5,600	5,853	729,523	2028/2/15
イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	1.05	5,000	5,033	627,300	2019/12/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	5.0	8,000	8,856	1,103,723	2022/3/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	5.5	3,500	3,974	495,310	2022/9/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	0.95	1,500	1,454	181,317	2023/3/15
		BUONI POLIENNALI DEL TES	4.5	3,500	3,883	483,992	2023/5/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	3.75	1,500	1,623	202,274	2024/9/1

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
		外貨建金額			邦貨換算金額		
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	4.75	2,500	2,910	362,735	2028/9/1
スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	5.4	7,000	8,467	1,055,319	2023/1/31
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	4.4	5,300	6,318	787,441	2023/10/31
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	2.15	1,500	1,640	204,395	2025/10/31
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	5.15	3,000	4,066	506,807	2028/10/31
ベルギー	国債証券	BELGIUM KINGDOM	0.5	4,500	4,619	575,780	2024/10/22
		BELGIUM KINGDOM	0.8	4,100	4,182	521,202	2028/6/22
日本	特殊債券 (除く金融債)	JAPAN FIN ORG MUNICIPAL	0.875	428	438	54,626	2021/9/22
小 計						8,445,841	
ポーランド				千ズロチ	千ズロチ		
	国債証券	POLAND GOVERNMENT BOND	3.25	2,000	2,102	60,594	2025/7/25
		POLAND GOVERNMENT BOND	2.5	11,000	10,991	316,763	2026/7/25
小 計						377,357	
オーストラリア				千豪ドル	千豪ドル		
	特殊債券 (除く金融債)	KOMMUNALBANKEN AS	2.7	4,000	4,077	318,429	2023/9/5
		LANDWIRTSCH. RENTENBANK	2.7	5,000	5,093	397,802	2022/9/5
小 計						716,231	
メキシコ				千メキシコペソ	千メキシコペソ		
	国債証券	MEX BONOS DESARR FIX RT	6.5	70,000	66,649	381,899	2022/6/9
		MEX BONOS DESARR FIX RT	5.75	50,000	43,273	247,957	2026/3/5
小 計						629,856	
合 計						20,558,051	

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年2月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	20,558,051	80.1
コール・ローン等、その他	5,119,768	19.9
投資信託財産総額	25,677,819	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産(20,871,332千円)の投資信託財産総額(25,677,819千円)に対する比率は81.3%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=110.55円、1カナダドル=83.08円、1英ポンド=142.27円、1スウェーデンクローナ=11.88円、1ノルウェークローネ=12.69円、1ユーロ=124.63円、1ズロチ=28.82円、1シンガポールドル=81.23円、1豪ドル=78.10円、1メキシコペソ=5.73円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年2月12日現在)

項 目	当 期 末 円
(A) 資産	45,880,435,894
コール・ローン等	4,870,085,478
公社債(評価額)	20,558,051,717
未収入金	20,254,980,073
未収利息	177,572,069
前払費用	19,746,557
(B) 負債	20,301,616,564
未払金	20,267,009,000
未払解約金	34,600,000
未払利息	7,564
(C) 純資産総額(A-B)	25,578,819,330
元本	19,742,454,325
次期繰越損益金	5,836,365,005
(D) 受益権総口数	19,742,454,325口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,956円

(注) 期首元本額は19,188,213,438円、期中追加設定元本額は4,159,597,601円、期中一部解約元本額は3,605,356,714円、1口当たり純資産額は1.2956円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

- ・野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド(野村S&I・E向け) 7,675,164,769円
- ・世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型(非課税適格機関投資家専用) 6,019,977,274円
- ・野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド(野村S&I向け) 5,783,663,656円
- ・野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド(運用切り替え機能付・限定追加型) 224,631,848円
- ・野村オールウェザー・ファクターアロケーションファンド(非課税適格機関投資家専用) 39,016,778円

○損益の状況 (2018年2月14日～2019年2月12日)

項 目	当 期 円
(A) 配当等収益	540,017,496
受取利息	543,200,452
支払利息	△ 3,182,956
(B) 有価証券売買損益	△ 196,470,022
売買益	3,760,467,213
売買損	△3,956,937,235
(C) 保管費用等	△ 6,439,226
(D) 当期損益金(A+B+C)	337,108,248
(E) 前期繰越損益金	5,341,297,644
(F) 追加信託差損益金	1,159,202,399
(G) 解約差損益金	△1,001,243,286
(H) 計(D+E+F+G)	5,836,365,005
次期繰越損益金(H)	5,836,365,005

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。